



北海道方面

清沼澤間道路開鑿

北海道夕張地方多年の希望であつた清水澤紅葉山間道路は拓殖經費を以て新設することとなり、本年は取敢ず第一期工事として清水澤、沼の澤間改良に着手することとなり次で沼の澤、紅葉山間を改良する豫定同地方の失業群は多少緩和される見込である。

道路改良愛護の標語

道路改良會北海道支部は曩に道路改良愛

地方通信

護の標語を募集したところ其の庶務總數四千五百餘通に達し之が嚴選の結果入選者は左の如く決定した。

- | | | |
|----|--------------------------------|-------|
| 一等 | 一寸一鍬立派な道路
(羽幌) | 足野 華生 |
| 二等 | 社會奉仕も數ある中で
一番手近は道直し
(津別) | 佐々木 實 |
| 二等 | 愛護の結晶模範の道路
(札幌) | 坂田 一敏 |
| 二等 | 千里に連る良き道も
鍬一挺の心から
(手稲) | 伊黒定次郎 |
| 三等 | 部落一致で道路を直せ
(愛別) | 柴田鐵次郎 |
| 三等 | 社會奉仕の第一歩
道路愛護に努めませう | |
| 同 | (中富良野) | 横山 昌秋 |
| 同 | 道は改良に生き愛護に育つ
(旭川) | 藤田 周 |
| 同 | 道路愛先づ一鍬の始めから
(手稲) | 伊黒定次郎 |
| 同 | 馬を打つ手で道直ほせ
(惠庭村) | 村本 秀重 |
| 同 | 道路良ければ村も富む
(標津) | 細井 齊 |
| 秀逸 | 愛し護れよ道路と我が子
(朝里) | 渡邊 三男 |
| 秀逸 | 一寸暇ありや道掃除
(長萬部) | 畑谷 良三 |
| 秀逸 | 護れ育てよ我子と道路
(羽幌) | 是 華生 |
| 秀逸 | 道路と身體は愛護が第一
(札幌) | 千葉 義彦 |
- 右一等に對して拾圓商品券、二等に對しては同五圓、三等には三圓、秀逸には各一圓を賞として贈つた。

東 北 方 面

外松島景勝廻遊道路

景勝として近來急に謳はるゝに至つた宮城郡七ヶ濱の丘陵地帯をドライブする縣道も愈々完成し、目下工事中なる貞山堀の架橋も五月中旬に竣工するので六月下旬よりいよいよ交通を開始する事となるので縣の公團係りでは沿道の名勝紹介方法を考究中であるが其の中で重なるものは二又山、君ヶ岡、高山村、御殿崎、牛生水郷などで、以上の景勝地帯は何れも繪葉書を作成して、從來の松島名所繪葉書に追加し、外松島或は新松島景勝として發行し大に宣傳して遊覽客の誘引に力癪を入れる事に決した。

古川町の道路舗裝

陸前古川町は宮城縣下で率先道路舗裝に

手を染め既に主要道路の大部分、停車場通り七日町、臺町横町、三日町、南町等の舗裝を完成したのであるが、今回更に國仙座横町、裏町等をも續いて舗裝する事に決した、國仙座横通りは主として兩側地主の寄附に俟ち裏町は青物市場積立金中より舗裝費用を支出する事になり不足分は七十七銀行が負擔し其他は町會で費用を支辨する事になつた。

都市改良工事着手

仙臺都市計畫に就ては前後十年を調査に費して愈々着手するに至つた、去る大正十二年五月鹿又市長時代に勅令第二七六號を以て指定都市となり同十四年三月内閣認可を受け區域決定後、更に昭和二年六月街路網を決定し同三年四月長町、原町及南小泉を併合して實施の端緒を開らき、鹿又市長満期退職の後三年十一月に山口市長就任して事業並に執行年度割を定め、同四年七月

に至り内閣の地域指定認可を得、翌八月十日から施行となり、同六年四月七日北田村荒卷及北根を併合して山口市長は仙臺市疑獄發生と共に退職し、同年の八月に至り澁谷市長就任し山口市長案を變改して内閣の認可を受け同月二十四日市會の決議を経て準備を進め本年一月より土地の買収にかゝり爾來茲に五箇月愈々着手に至つたものであるが事業費總額は四百五萬圓である。

阿武隈川橋梁竣工

四十餘萬圓の巨費を投じた阿武隈橋梁は既に大部分の工事竣へ堂々たる鐵筋混凝土の巨體を現はし今や最後の仕上げ中であるが舊幕時代から明治、大正、昭和と永い年代に亘り旅人の思ひ出をつくつた藤波の渡しは昔し語りとなり、岩沼、亘理の連鎖は之と同時に濱街道直道の交通革命となるので地元關係の二町八ヶ村では非常な喜び方である、そこで岩沼、亘理兩町が中心とな

つて沿道各町村糾合し、阿武隈開通協賛會を組織して六月十五日の吉辰を卜し、大々に此のよろこびを祝福せんと、準備中の由である。

北越方面

新潟縣道路調査會

新潟縣會議員及同縣選出貴衆兩院議員等有志より成れる新潟縣政調査會委員は五月十五日協議會を開き、飛田幹事は起立して開會を宣し、昭和三年度に於ては縣下の百五十二路線二十橋梁架替の十箇年繼續二千萬圓の産業道路計劃を樹て縣會を通過したが政變其の他のため遂に實現に至らないのは縣民と共に遺憾とする所である、依て我々は今回多數縣民の要求に即して更にあらためて道路改良計畫を立て縣の發展に資し且つ又縣民一般の福利増進に力めたいと思

ふと述べ次で各委員より種々意見の開陳ありて結局産業開發の必要上道路交通の改良を第一着とすべしと言ふに決し遂に新潟縣道路調査會の設立を見るに至り其第一期役割は會長に内藤慎二副會長に高井戸次郎、遊説部長に大井一暲副部長に塚野健治の諸氏が當ることとなつた。

本年度の國道工事

産業開發失業救済道路として七年度限に實施さるべき新潟縣下の國道改良事業は今回次の如く決定し内務省新潟土木出張所で施行する豫定である。

國道十號線 長岡中ノ島間 十二萬圓
國道十一號線 關山田口間 十一萬圓
計二十三萬圓で此の内三分の一を國庫より補助する規定で其額は約八萬圓見當である尙此外六年度に施行した國道十號線中北蒲原郡濁川村から佐々木村に到る改良工事の延長線である佐々木村新發田間は六年度

繼續として總工費十一萬圓を以て現に實施中であるから同縣下の七年度國道事業は前記の如く新發田、佐々木間、長岡、中ノ島間、田口、關山間三線の改良である。

關東方面

多摩川の丸子橋

昭和三年以來五ヶ年に亘る懸案であつた東京府と神奈川縣境界の指定府縣道中原街道の玉川丸子橋は今回愈々五十一萬圓でモダン丸子橋を新たに築設する事になつた、右につき内務省から十七萬圓の補助を受け東京府及神奈縣では各十七萬圓宛負擔するもので、國庫補助十七萬圓は過般東京府に諒解を與へられて居るので東京府では近日中該設計を了し内務省に正式に申請、認可を受くることとなつて居る。工事は請負入札に附することになつて居るのであるが八

月末或は九月初めに入札することに略決定し工事は二百二十日前後の出水季節を過ごし十月早々着手する豫定である。

東 海 方 面

龜崎高濱間に架橋

愛知縣知多郡龜崎町と碧海郡高濱町との海上に架橋して交通に便する計畫がある、工費は七十萬圓で海上五百間餘の長橋となる豫定であるが、之が出来れば兩郡の交通は眞に革新的の利便を齎らす譯である、併かし龜崎、高濱兩町で各三十五萬圓宛負擔することは困難であると言ふので此の兩町を繋ぐ一線を縣道に認定して架橋費の半額を縣費補助として架橋の目的を達しやうとして居る。

岐阜日野間道路

長良川鵜飼の發展に伴ひまた納涼地とし

て年次その省を譲はるゝ様になつた金華山麓の納涼園改善は着々進んで居るが、之に關連して長良橋日野間に自動車道路を開設し眺望佳なる所々に休憩所を設け名産岐阜提灯を吊るして日本風指の納涼公園たらしめんとし楓、霧島等をも植樹して居る、完成の上は從來一人につき二十錢宛を徴收して居つた入園料を廢し、乗車料に擬替へ、安く多くを目標に改善策協議中である。

近 畿 方 面

京都二道路の舗裝

七條より觀月橋に至る師團街道、三條より渡月橋に至る三條街道を京都市土木局から内務省に認可申請中であつたが近く認可するに至つたので工費七十三萬圓を以て右二道路の舗裝をなす事となつた、これは三分一の國庫補助を申請するもので降雨季を

過ぎ次第直ちに起工する由である。

中 國 方 面

岡山の永安橋工事

岡山縣土木課直營の下に岡縣吉井川に架橋中の(上道郡西大寺町、府縣道)永安橋工事は此程着々進捗して閉通も目捷に迫つて居る、橋長は三百二十二米突、幅員は五米四で上部鐵材は五百噸一二、鐵筋百四噸五一を使用して居るが特に注目を寬めて居るのは構造の上部で、タイドアーチ徑間五十米四連、プレートガーター徑間十八米突三四が七連となつて居る。下部は鐵筋混ウエルの深サ十二米から十四米で總工費は二十一萬五千三百圓である、この外取付道路二十四米八五(府縣道)町村道二十三米七五及び巾六米五の浮橋水門新設費等計二萬五千二百十六圓を要して居る。

道路愛護團の活動

廣島縣深安郡引野村に於ては社會奉仕のため道路愛護團を組織し十一分團に編成して、土肥村長指導のもとに道路の修理或は測溝の掃除等に從事し、着々好成績を舉げて居るので、農閑期には砂利の採集をも行ひ、雨季泥濘の前後に於ては、特に注意して、一般交通者の利便に資し、併せて村費の支出を年々遞減しやうと努力して居る。

四 國 方 函

德島小松島間道路竣工

昭和七年五月七日午前十時三十分新たに架せられた勝浦濱橋畔に於て盛大な開通式は舉行された、德島市と小松島港間の道路工事は時代の要求に伴ふ多數失業者の救済を兼ねて昭和五年既に完成した府縣道德島津田線中の德島市内縣廳側より津田橋に至

る改修道路有効幅員五間四步延長一千八百三間五分を更に延長して前記津田德島線及津田小松島線を改修し、これまで窮屈して居た德島小松島港間の道路を改良したのである。右は昭和五年の德島縣通商縣會に工費五十三萬二千五百五十四圓の要求を提案したのであるが政黨の議論する處となりて否決に遭遇するや德島、勝占、小松島等の民論は此の議決を不當なりとして縣下の諸所に議員の職責に關する比難起る等幾多の曲折ありたるが、土居通次知事は遂に原案執行の指揮を得愈實現を見るに至つたのである。

昭和六年七月二日起工以來勞働者延人員十七萬二千九百五十二人を使役し就業日數二百七十餘日を重ねて竣工したのである、本改築區間は德島市津田橋南詰を起點とし、同市新濱町を経て勝浦郡勝占村に入り更に同郡小松島町なる神代橋の北詰を終點とする延長三千九百九間一步八厘であつて、其中德島津田線は三百六十一間四分九厘を

占め、津田小松島線は二千七百四十七間六步九厘である、橋梁は右區間中に津田小橋、勝浦濱橋(舊稱地切山橋)大江橋等の外一號、二號三號四號小橋及陸橋を合せ橋梁數八其延長九十六間四分八厘で純道路延長は三千二百七十七步である。

九 州 方 函

東郷海津國道開通式

福岡縣宗像郡東郷より遠賀郡岡垣村海老津に通ずる國道二號線は昨年五月失業救済事業として起工以來三十七萬八千餘圓の工費と十六萬八千餘の人力を使用して愈々竣工した、本國道は北九州より博多に通ずる運輸殖産上の重要路であつて途中に城山峠の難所があり車馬自動車等の通行を妨げる事甚しく地元民の奮起する所となり遂に内務省直轄工營の下に今日あらしめたもので、幅員八米五センチ、延長實に九千

九十五米突に及び、筑前の大平野を縦貫して門司に至つて居る、開通式は四月二十四日午前十時から宗像郡赤間町陵巖寺で、官幣大社宗像宮の神職等奉仕して知事代理(坂本土木課長)以下十餘名臨席の下に厳かに執行され、終て赤間小學校内に設けられたる祝賀會場に千餘名の盛大な祝宴は催され、「祝開通」と染め抜きたる袱紗を記念とし中村議員の發聲にて國道開通萬歳を三唱し午後四時散會した。

日向の橋橋開通式

總工費百二十萬圓! 長二百十二間!!

鎮西第一を誇る鐵筋混凝土橋!! 宮崎縣宮崎市の中央を流るゝ大淀川に架設中だつた橋橋は起工後二箇年を費して芽出度く竣工したので四月三十日開通式を舉行した、人口六萬五千を擁して太平洋岸に面するも從來交通機關不整備のため兎角發展を見ず陋る刺激薄の都市なりしが最近に至り道路橋

橋橋架功式順序

第一	開通式	此間事務長
第二	神職奉仕	此間事務長
第三	祝詞朗読	此間事務長
第四	祝詞朗読	此間事務長
第五	祝詞朗読	此間事務長
第六	祝詞朗読	此間事務長
第七	祝詞朗読	此間事務長
第八	祝詞朗読	此間事務長
第九	祝詞朗読	此間事務長
第十	祝詞朗読	此間事務長
第十一	祝詞朗読	此間事務長
第十二	祝詞朗読	此間事務長
第十三	祝詞朗読	此間事務長
第十四	祝詞朗読	此間事務長
第十五	祝詞朗読	此間事務長
第十六	祝詞朗読	此間事務長
第十七	祝詞朗読	此間事務長
第十八	祝詞朗読	此間事務長
第十九	祝詞朗読	此間事務長
第二十	祝詞朗読	此間事務長
第二十一	祝詞朗読	此間事務長
第二十二	祝詞朗読	此間事務長
第二十三	祝詞朗読	此間事務長
第二十四	祝詞朗読	此間事務長
第二十五	祝詞朗読	此間事務長
第二十六	祝詞朗読	此間事務長
第二十七	祝詞朗読	此間事務長
第二十八	祝詞朗読	此間事務長
第二十九	祝詞朗読	此間事務長
第三十	祝詞朗読	此間事務長

梁等の架設
改築せらる
あり又一
而火災後の
焼太とりで
全市街の建
築様式も全
く面目を改
め九間幅の
舗装道路に
面して新容
を競ひ東九
州を飾る一
新都市が現
出した様で
併かも官幣
大社宮崎神
宮は五十萬
圓の豫算で
参拜道路と

霧島觀光道路開通式

霧島登山道路は六年餘の歲月と二十八萬餘圓の工事費を以て此の程完成したので、五月二十六日高千穂小學校堂で壯嚴なる開通式を執行した。鹿兒島縣始良郡東嶽山村に鎮座する官幣大社霧島神宮前なる陸橋下より霧島温泉に至る延長三里十三町四十八間、幅員三間で神宮より温泉を連ぬる雄大な風光美は世界に殆んど類例がない、縣では本路線に關し特に意を用ゐ國庫の補助と共に六年度の失業救済事業として延人員三萬六千六百餘の失業者を使用して竣工せしめたのである。

